

「権限が必要」と表示されてフォルダーが消せない

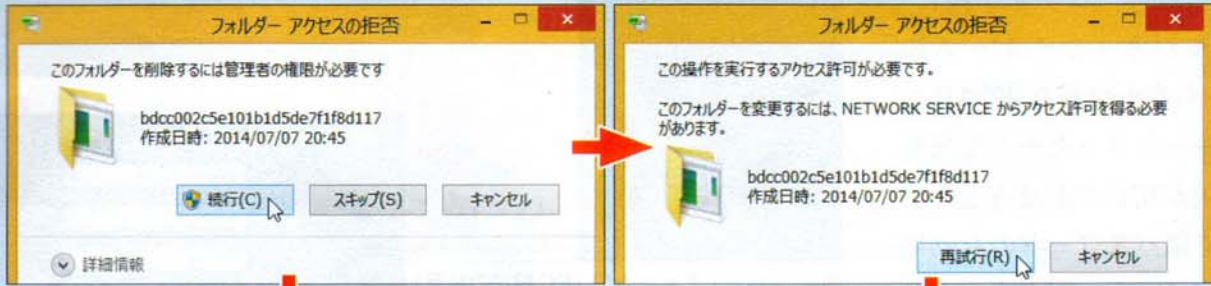


図1 Dドライブにできた見覚えのないフォルダー。削除しようとしても、2つのメッセージが表示されるだけで実行できない

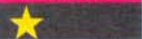
対処法

フォルダーの所有者の設定を変更する

発生頻度



危険度



難易度



●フォルダーの所有者を変更して削除などを可能に

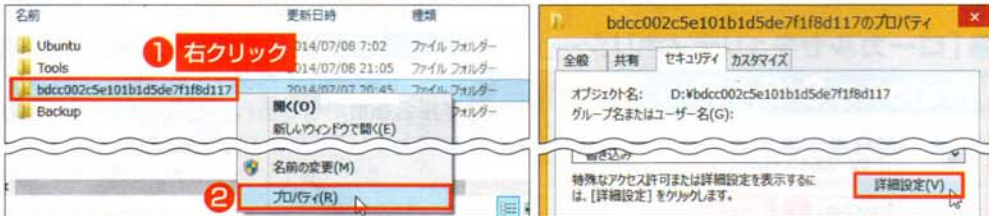


図2 問題のフォルダーを右クリックして「プロパティ」を選択。「セキュリティ」タブから「詳細設定」をクリック

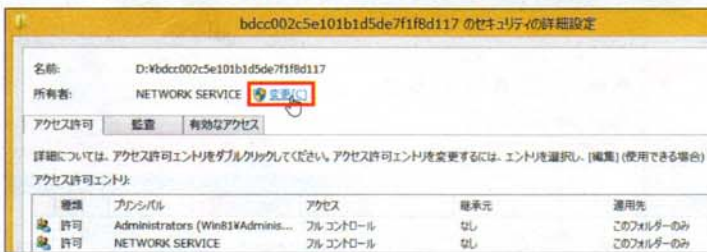


図3 「セキュリティの詳細設定」が開く。「所有者」の「変更」を、さらに開いたウィンドウの「詳細設定」をクリック

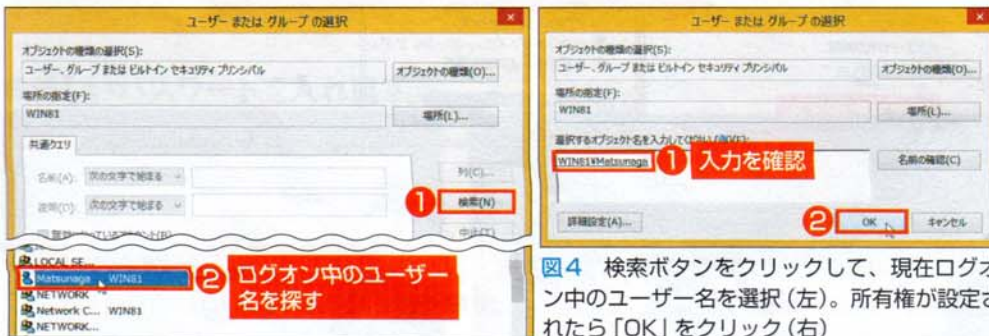


図4 検索ボタンをクリックして、現在ログオン中のユーザー名を選択(左)。所有権が設定されたら「OK」をクリック(右)

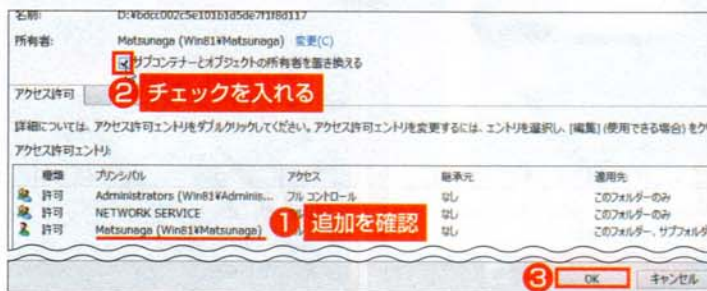


図5 詳細設定画面に戻ると、所有者が変更されたことが確認できる。「サブコンテナと……」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリック。これでフォルダーを削除できる

気が付くと、見覚えのない長い英数字のフォルダーが作成されていることがある。中身は不要なもの（もしくは空）であることが多いが、そのフォルダーを削除しようとしても表題のメッセージが表示されて削除できないことがある(図1)。

この謎のフォルダーはWindows Update実行後の残骸だ。Windows Updateは、空き容量が最大のドライブに英数字の一時フォルダーを作成し、ダウンロードした更新プログラムをそのフォルダーへ展開し、適用する。このフォルダーが、アップデートに失敗したようなときに残ってしまうことがある。削除してかまわないが、前述したように通常の手順では削除できない。

解決方法はいくつかあるが、当該フォルダーの「所有者」を置き換える方法が手っ取り早い。具体的には、セキュリティの詳細設定画面を開き(図2)、「所有者」を現在ログオンしているユーザーに設定する(図3～図5)。設定完了後、再度フォルダーを削除すればよい。